

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		後期高齢者医療制度健康診査受託事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	020702000383
		総合計画の施策名			単独/補助	補助	所属課	030201
		政策名			主要事業	対象外		国保年金課
		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり			市長マニフェスト	対象外		
		07 地域医療制度の充実			未来PJ事業	対象外	グループ	医療年金G
		基本事業名			合併建設計画事業	対象外		
		02 医療保険制度の充実			事業期間			
		財務会計上の位置付け			単年度繰返し (平成20年度~)			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	03	01	04	02	00	老人医療給付事業	
法令根拠		高齢者の医療の確保に関する法律、茨城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例						

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
高齢者の医療の確保に関する法律により高齢者の健康診査は、平成20年度より茨城県後期高齢者医療広域連合が実施主体となった。 この健康診査事業は被保険者の利便性等を考慮し、広域連合との業務委託契約により今までの基本健康診査と同様に市が実施している。	健康推進課からのデータを受けて、前年度・前々年度までの受診歴のある被保険者に対し、受診券・尿検査容器等を郵送した。 健診については、茨城県総合健診協会へ委託し、地区集会所・公民館等で実施した。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
前年度・前々年度までの受診歴のある被保険者に対し、受診券・尿検査容器等を郵送。 健診は、茨城県総合健診協会へ委託し、地区集会所・公民館等で実施する。	受診者数	人	988.00	1,008.00	1,050.00	1,050.00	1,050.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
茨城県後期高齢者医療広域連合の被保険者	被保険者数	人	6,663.00	6,729.00	6,782.00	6,800.00	6,800.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
生活習慣病予防の意識を高める	健康診査受診率	%	14.83	14.98	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	5,250	5,355	7,578	7,600	7,600
		一般財源	千円	83	83	106	100	100
	事業費計 (A)	千円	5,333	5,438	7,684	7,700	7,700	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人		
	述べ業務時間	時間	94.00	120.00	120.00	120.00		
	人件費計 (B)	千円	273	348	348	348	355	
トータルコスト (A) + (B)		千円	5,606	5,786	8,032	8,048	8,055	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)		29年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	45	11 需用費	52
	13 委託料	5,393	13 委託料	6,032
			19 負担金補助及び交付金	1,600
	合計	5,438	合計	7,684

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	後期高齢者医療制度健康診査受託事業	事務事業No.	20702000383	所属課	国保年金課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合が設立され、平成20年4月1日から保健事業として開始されたものであり、制度開始期より大きな変化はない。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

意見・要望等は寄せられていない。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	高齢者の健康保持を目的としているので政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法律・条例に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているものであるから、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	ほとんどの被保険者が医療機関を受診しているため、受診率を大きく向上させることは困難である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法律・条例に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているものであるから、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているため、統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	国民健康保険被保険者等の特定健診日に、同じ健診機関に委託することで最小限の単価で実施しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	被保険者全員を対象としており、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>